

第5章 第3次下田市食育推進計画の指標

基本理念	分野	目標	目標項目 ☆…重点項目	現状値 (令和元年)	目標値 (令和6年)	ライフステージごとの取組の視点									
						妊娠期	乳児期	幼児期	学童期	思春期	青年 壮年期	中年期	高齢期		
食を通して健康でいきいきと暮らせるまち	食を選ぶ力を育む	生活習慣病の発症予防を意識した食事を実践する	肥満傾向の児童・生徒の割合の減少	小(低) 6.6% 小(高) 10.0% 中学生 7.8% (令和元年度 育つ下田の子)	小(低) 4.0% 小(高) 5.0% 中学生 5.0%	○	○	○	○	○					
			肥満者の割合の減少(40～60歳代)	男性 33.1% 女性 18.0% (平成30年度国保特定健診結果)	男性 30.0% 女性 15.0%				○	○					
			BMI 21.5未満の高齢者(65歳以上)の割合の増加の抑制	男性 27.2% 女性 39.8% (平成31年4月1日時点後期高齢者健診結果)	男性 25.0% 女性 37.0%						○	○			
			☆朝食を食べている児童、生徒の割合の増加	小(低) 97.3% 小(高) 98.1% 中学生 95.2% (令和元年度 育つ下田の子)	小中学校100%に近づける				○	○	○				
			朝食を毎日食べる者の割合の増加(20～30歳代男性)	48.3% (平成30年度健康増進アンケート)	55.0%						○	○	○	○	
			ゆっくりよく噛んで味わって食べる者の割合の増加(20歳以上)	—	※中間評価にて設定	○			○	○	○	○	○	○	
			☆食塩(塩分)を控えている者の割合の増加(20歳以上)	—	※中間評価にて設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			栄養バランスを考えた食事を実践する	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加(20歳以上)	—	※中間評価にて設定	○			○	○	○	○	○	○
				野菜・海藻・きのこ類を使った副菜を毎食1皿以上食べる者の割合の増加(20歳以上)	—	※中間評価にて設定	○			○	○	○	○	○	○
				食品(食材、お弁当など)を買うときに栄養成分表示を参考にしている者の割合の増加(20歳以上)	22.5% (平成30年度 健康増進アンケート)	35.0%	○					○	○	○	○
	食を知る機会を設ける		農林漁業体験(見学)をする幼稚園・保育所・小学校・中学校の割合の増加	園 80.0%(4/5園) 小 100%(7/7校) 中 75.0%(3/4校) (平成30年度 食育推進計画に関するアンケート)	100%に近づける				○	○	○				
			学校給食における県内の地場産品を使用する割合の増加(食材料ベース)	45.9% (令和元年度学校給食栄養報告)	45.0%以上を維持										
			☆賀茂地域の地場産品を使用している者の割合の増加(20歳以上)	77.2% (平成30年度健康増進アンケート)	85.0%	○					○	○	○	○	
			食育に関心のある者の割合の増加(20歳以上)	20歳代 79.1% 30歳代 75.0% 40歳代 69.6% 50歳代 74.1% 60歳代 77.0% 70歳代 70.1% 80歳代 68.6% (平成30年度健康増進アンケート)	20歳代 90.0% 30歳代 85.0% 40歳代 80.0% 50歳代 85.0% 60歳代 90.0% 70歳代 80.0% 80歳代 80.0%	○				○	○	○	○	○	
			食育ボランティアなど食育を推進する団体の増加	18団体	20団体								○	○	○

